

以下のスライドは、令和元年度の学校保健委員会の発表を、学校HP用にまとめ直したものです。

本校の保護者の皆様、本校に合格された中学生や保護者の皆様にご覧いただければ幸いです。

# 令和元年度 学校保健委員会

アンケートを通してみた

本校生のけがの実態について

保健部・生徒保健委員

2年生 H (生徒保健委員 委員長)

H (生徒保健委員 副委員長)

アンケート実施期間 令和元年10～11月

回答者（全生徒対象）

1年計 220人

2年計 227人

3年計 224人

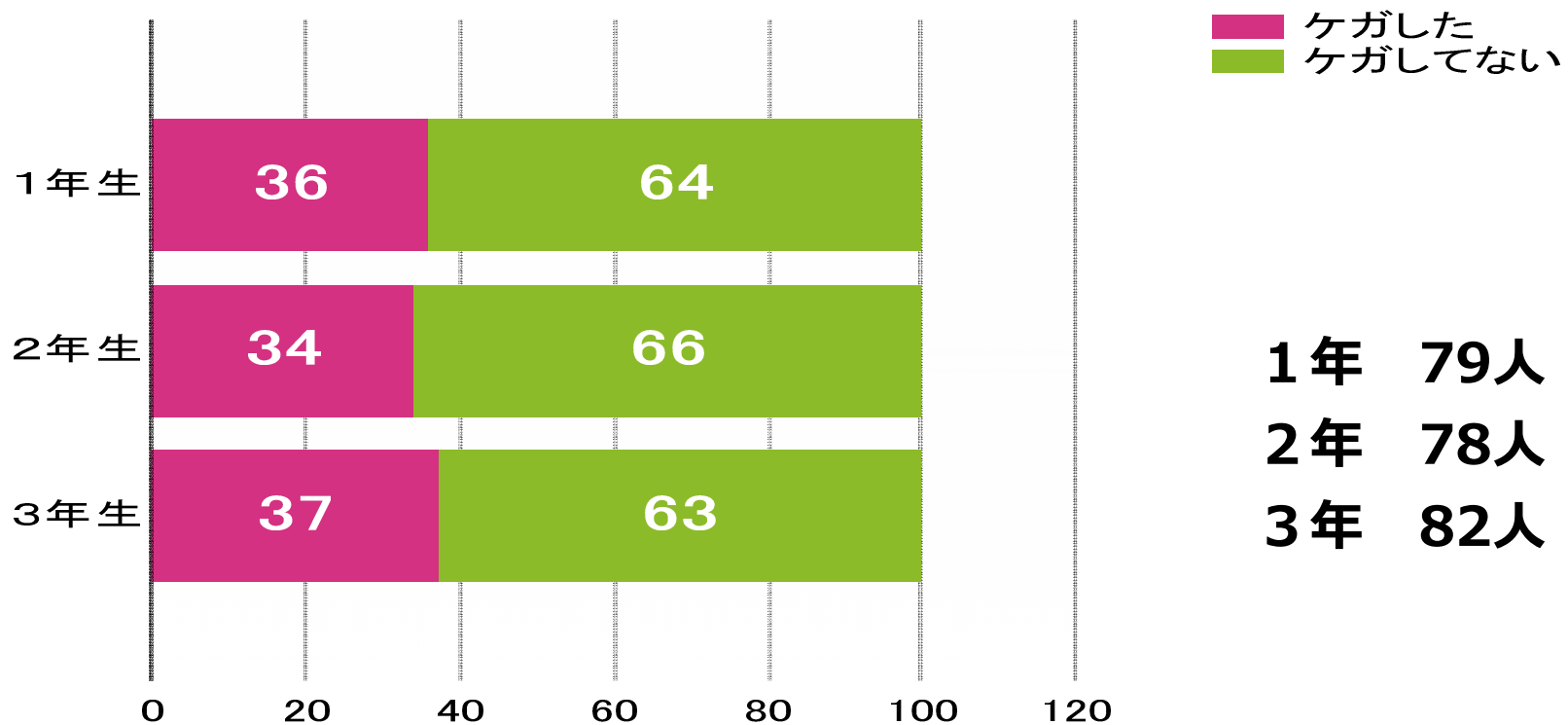
計 671人

1. 保健部で質問項目を作成
2. アンケート回答後、保健部で集計（11月）
3. 集計結果をもとに生徒保健委員が検討会を実施  
3年生：K、Y、H  
2年生：H、I、N  
1年生：M、U、F
4. 上記3をまとめたものを生徒全員に配付（令和2年1月8日）

以下のスライドで発表する数値・グラフでは、「その他」や少数回答の数値を割愛していますので、合計が100%にならないことがあります。ご了承ください。

## 質問2 (%) : 登下校を含む学校生活でけがをしましたか？

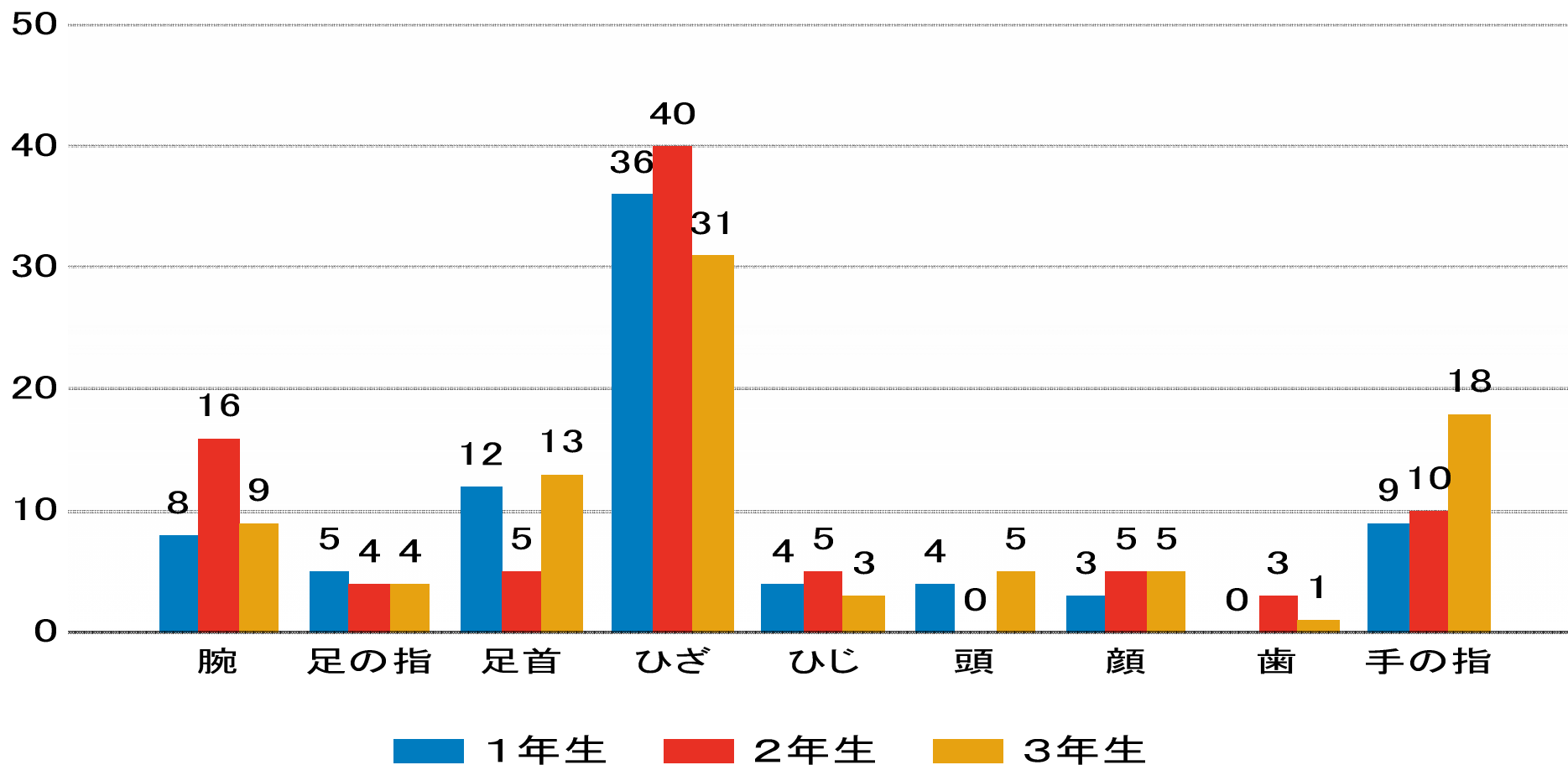
けがをした・しない



3人のうち、1人はけがをしている

### 質問3 -(2) (%) : けがの場所 (部位) はどこですか？

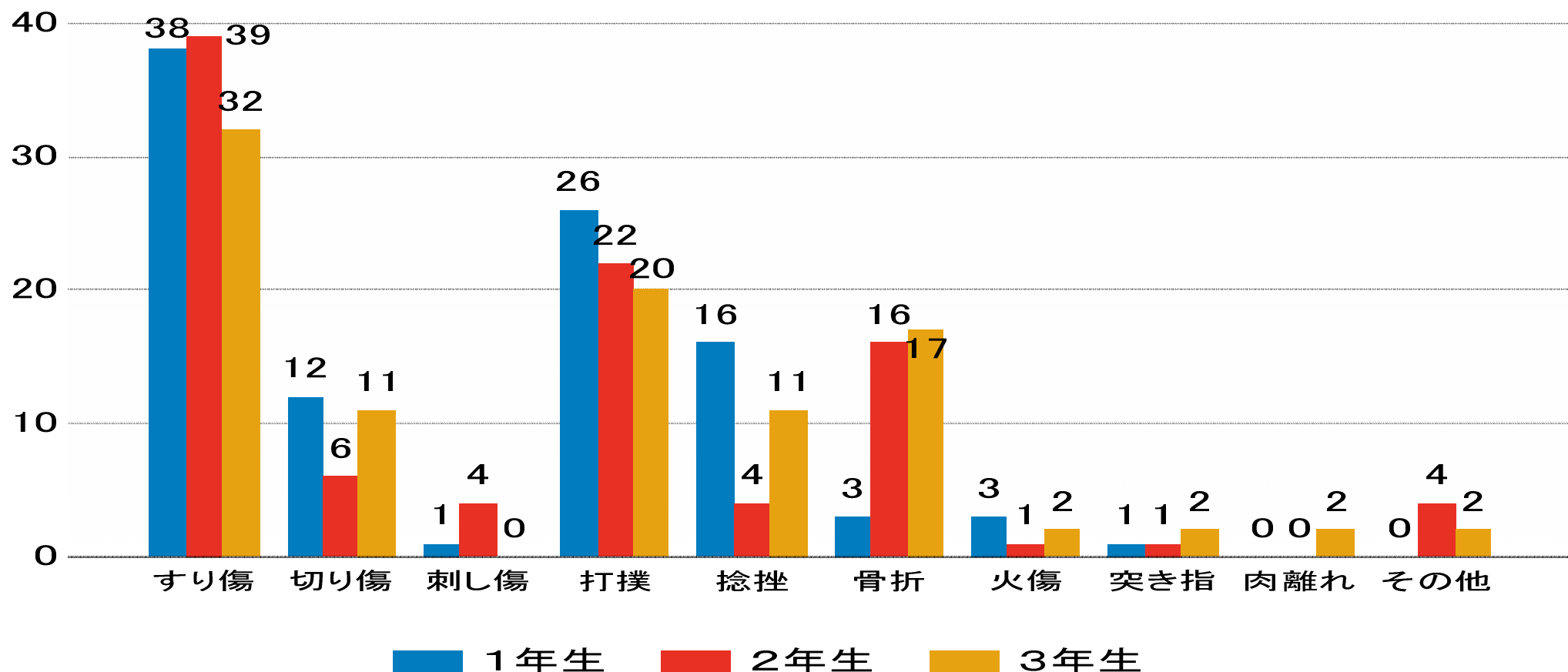
#### けがの部位 (上位)



どの学年も、ひざのけがが最多

### 質問3 -(3) (%) : どのようなけがでしたか？

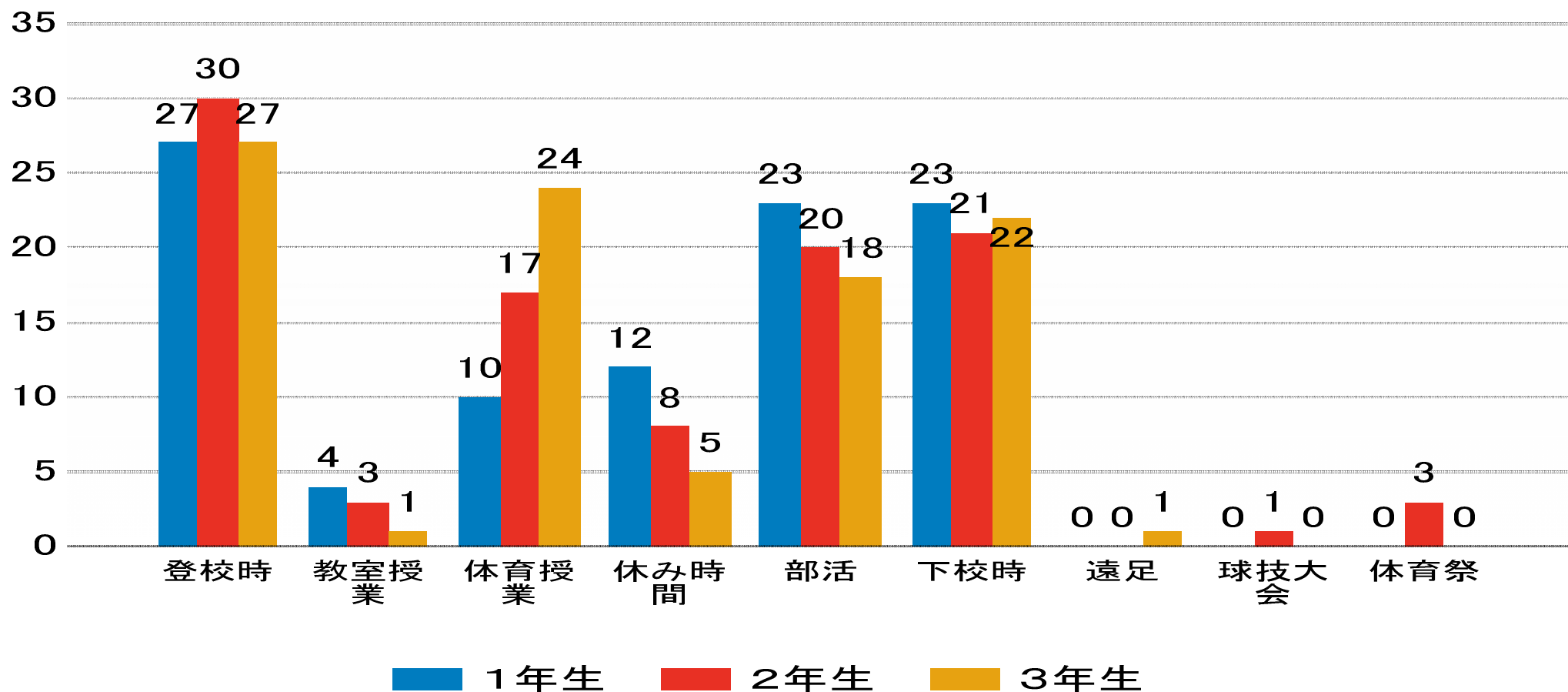
#### けがの内容



すり傷と打撲が多い

### 質問3 - (4) (%) : どのようなときにけがをしましたか？

#### けがの発生時

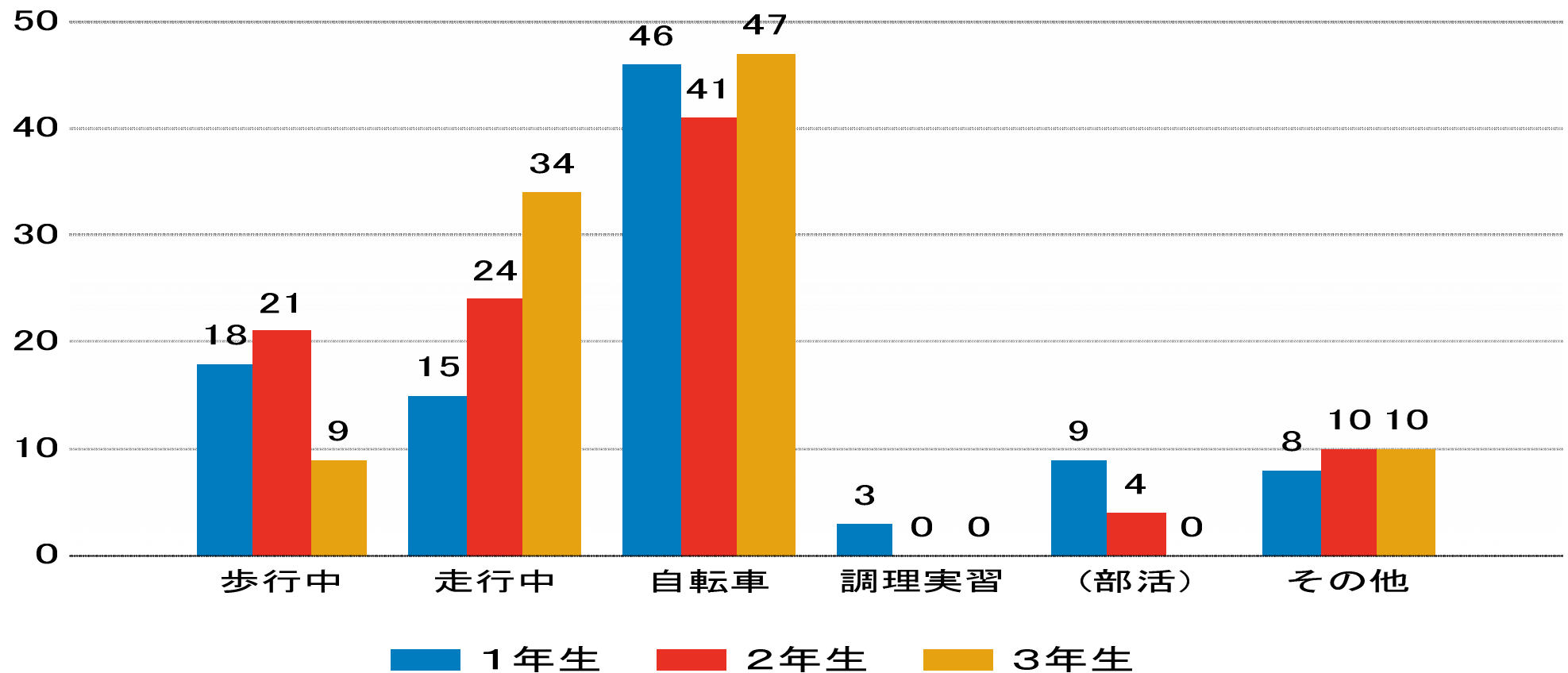


登下校時と部活中が多い



### 質問3 - (5) (%) : 何をしているときにけがをしましたか？

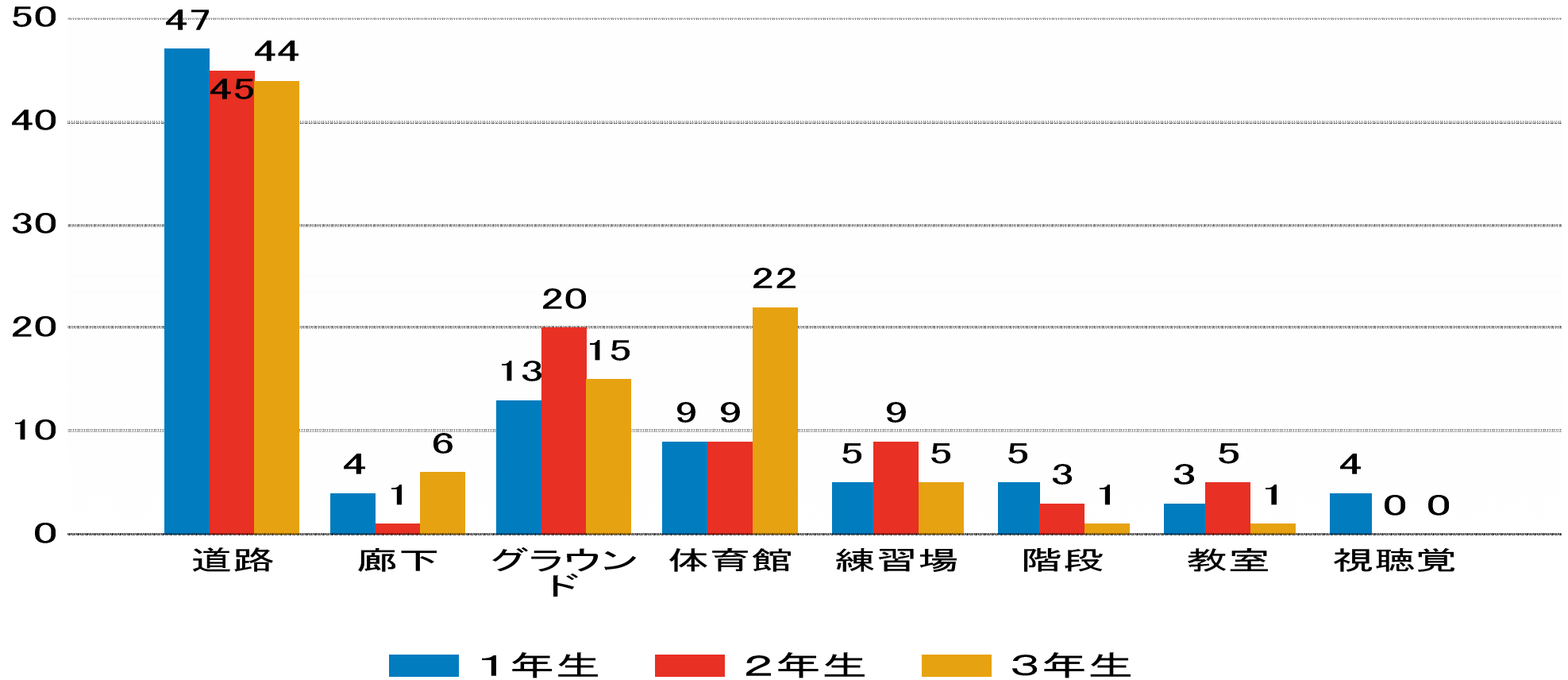
#### 発生状況



自転車乗車時と走っているときが多い

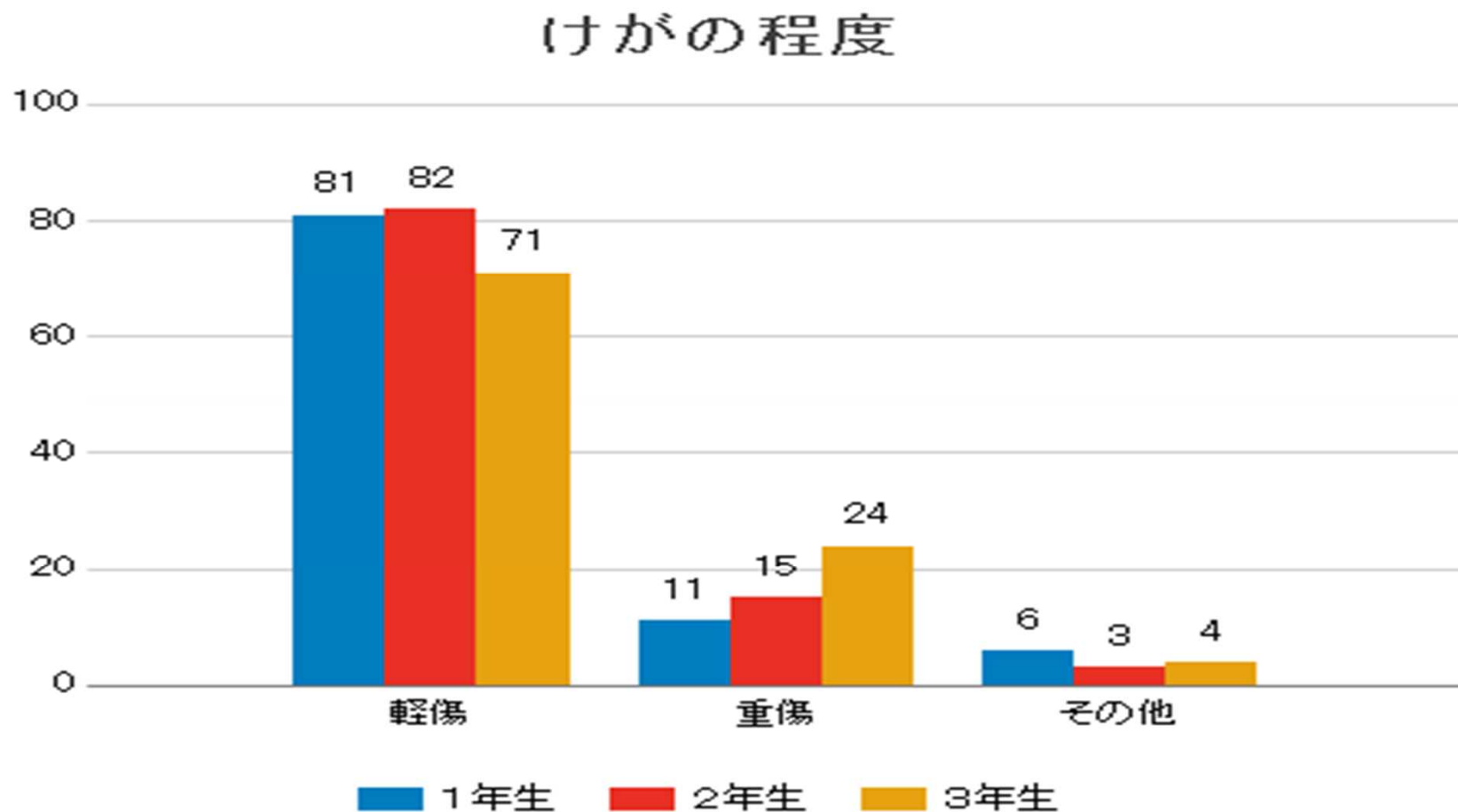
### 質問3 - (6) (%) : どのような場所でけがをしましたか？

#### 発生場所 (上位)



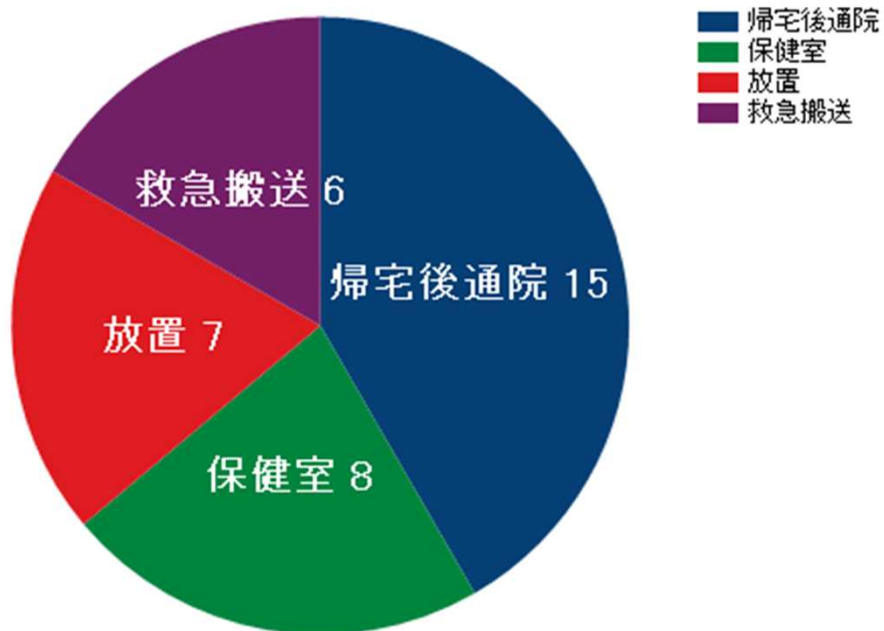
道路上のけがが最多

### 質問3 - (7) (%) : どのような程度のけがでしたか？

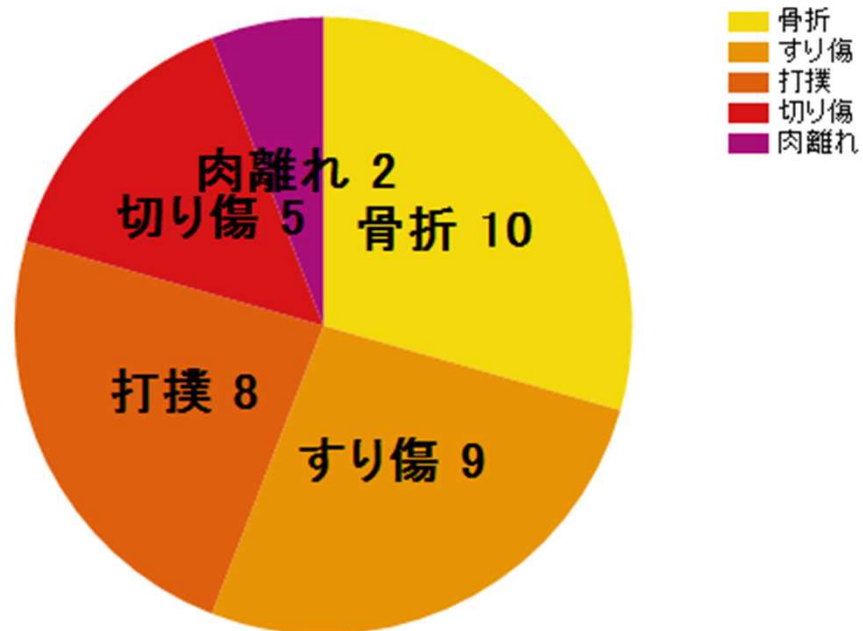


# 「重傷」(41人)のうちわけ

「重傷」(41人)の処置

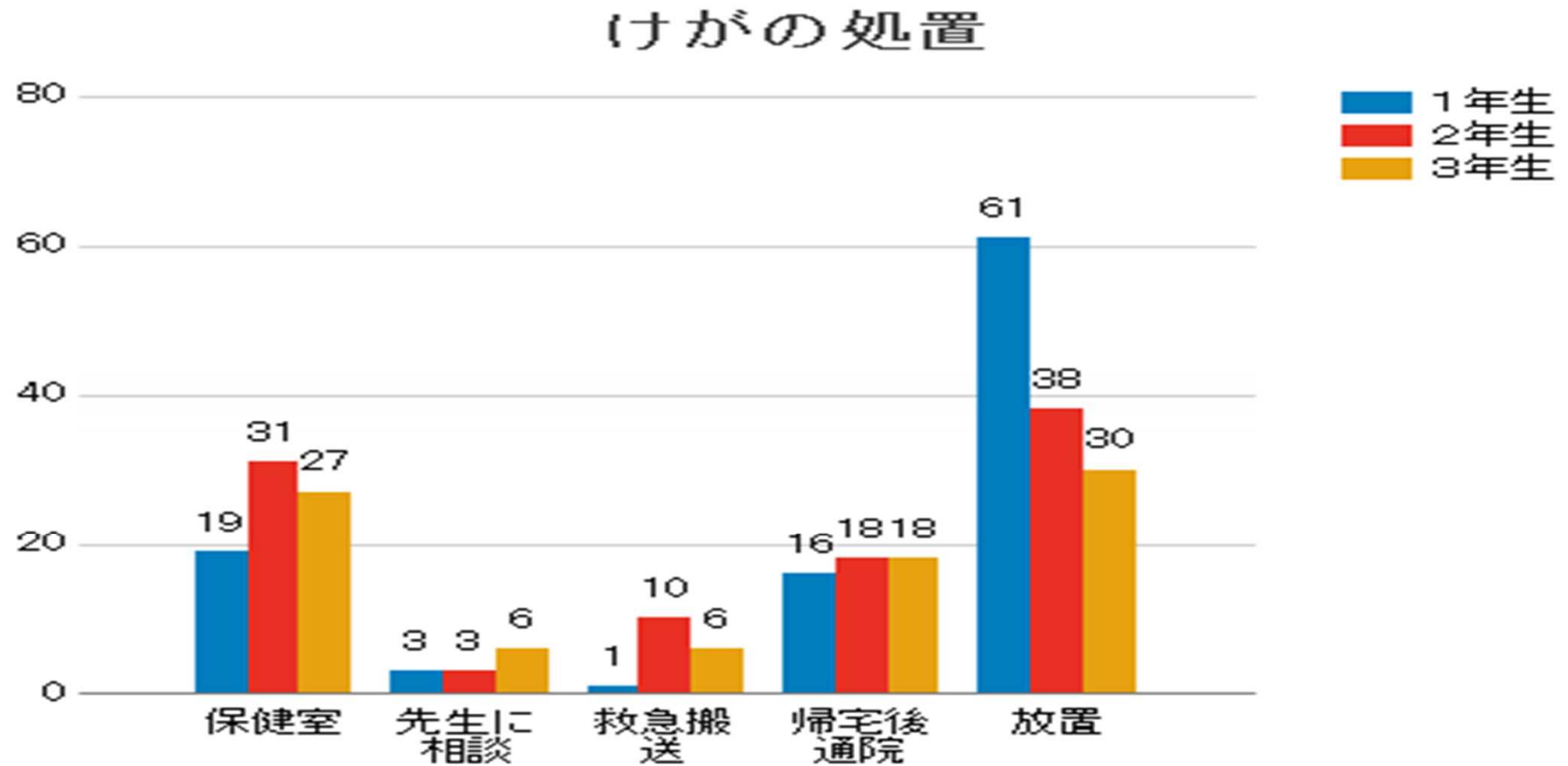


「重傷」(41人)の内容



靱帯損傷  
前十字靱帯切断  
半月板損傷

### 質問3 - (8) (%) : けがをしたあと、どうしましたか？



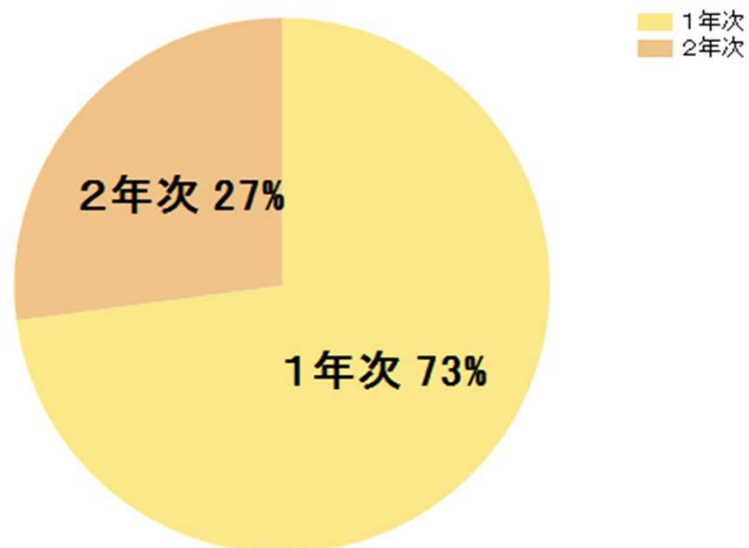
## けがの部位と種類 上位5

1. ひざのすり傷 (20%)
2. ひざの打撲 (5%)
3. 足首のねんざ (5%)
4. 手指の骨折 (3%)
5. 腕のすり傷 (3%)

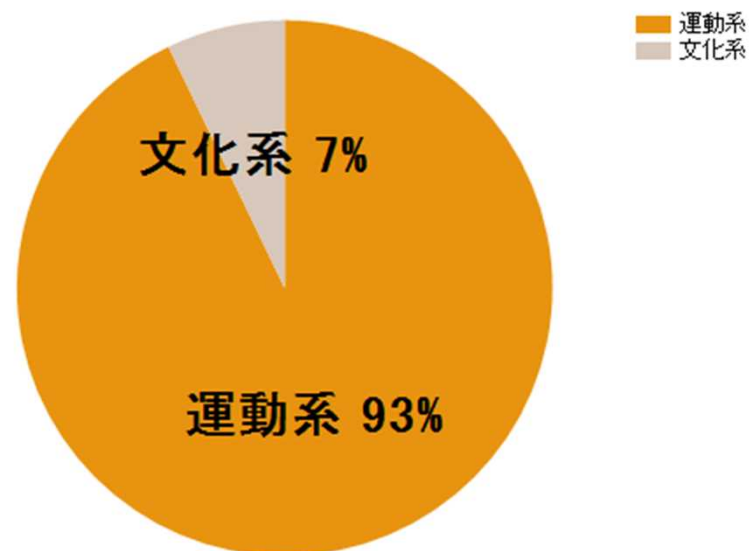
腕の打撲、手指のすり傷

# 部活

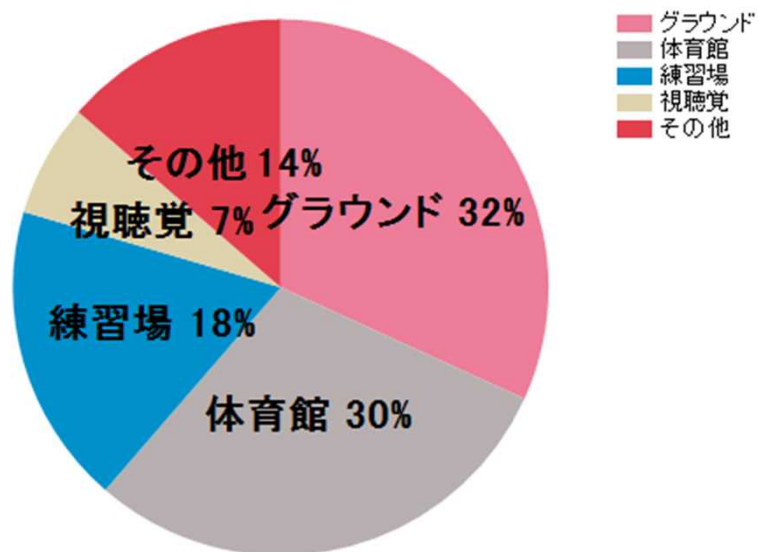
## 部活中のけがの発生時期



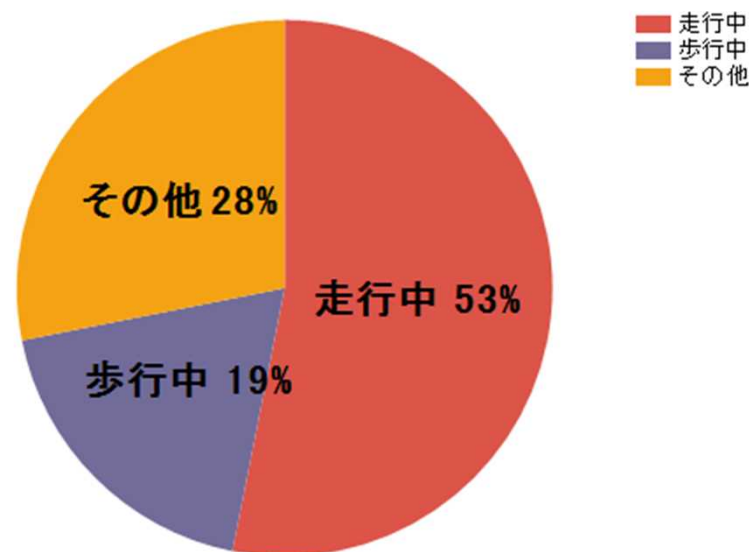
## 運動系・文化系別



## 部活動中のけがの発生場所

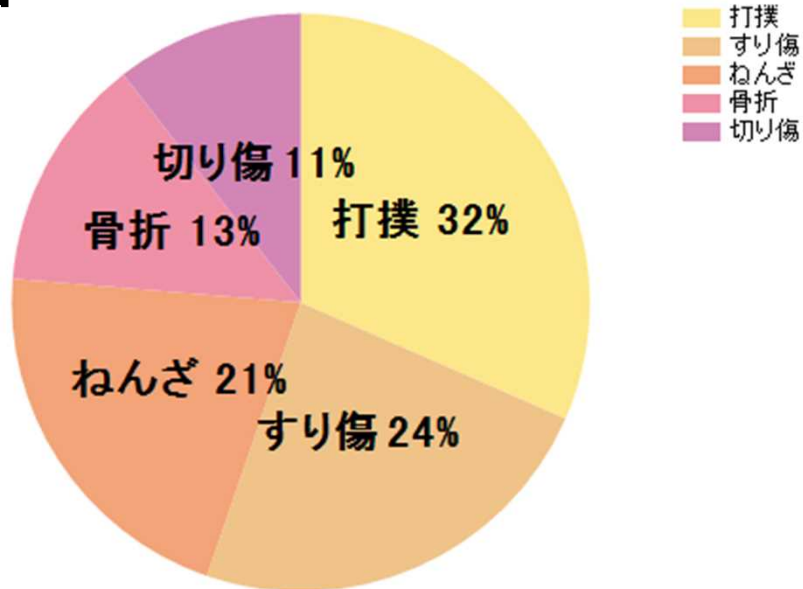


## 部活のけが発生状況

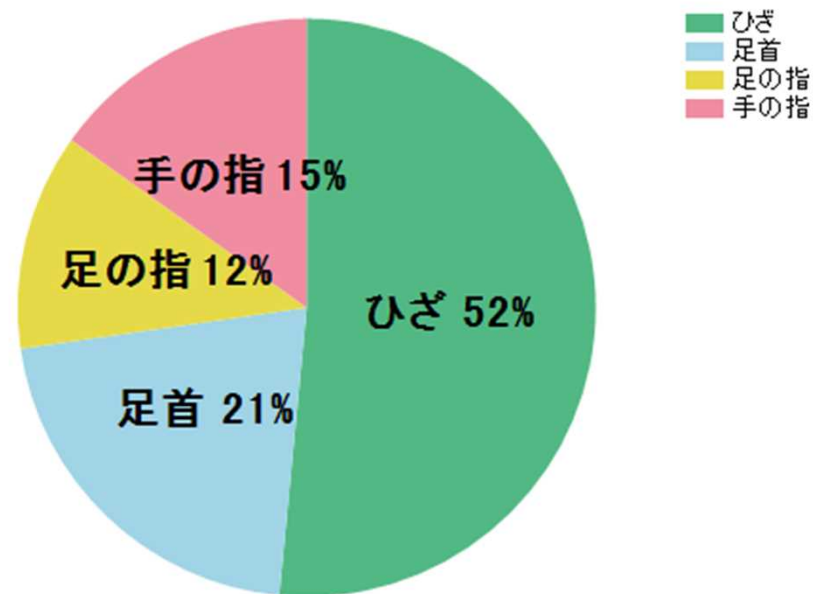


# 部活

部活中のけがの種類



部活中のけがの部位



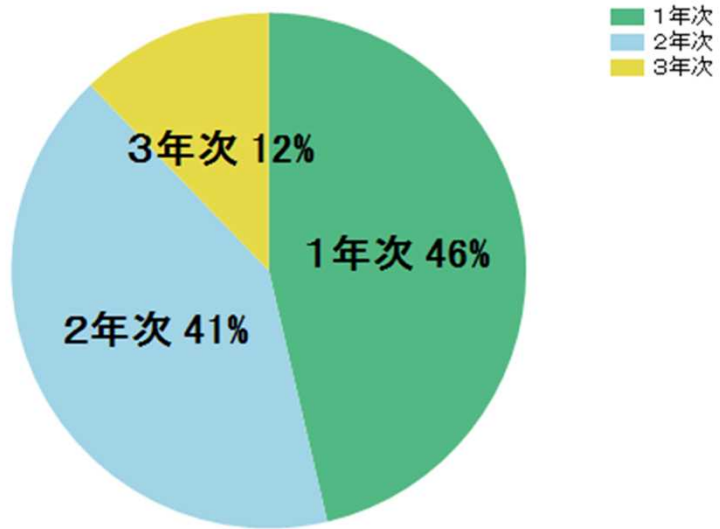
## けがの部位と種類 上位3

1. ひざのすり傷 (13%)
2. 足首のねんざ (11%)
3. ひざの打撲 (6%)

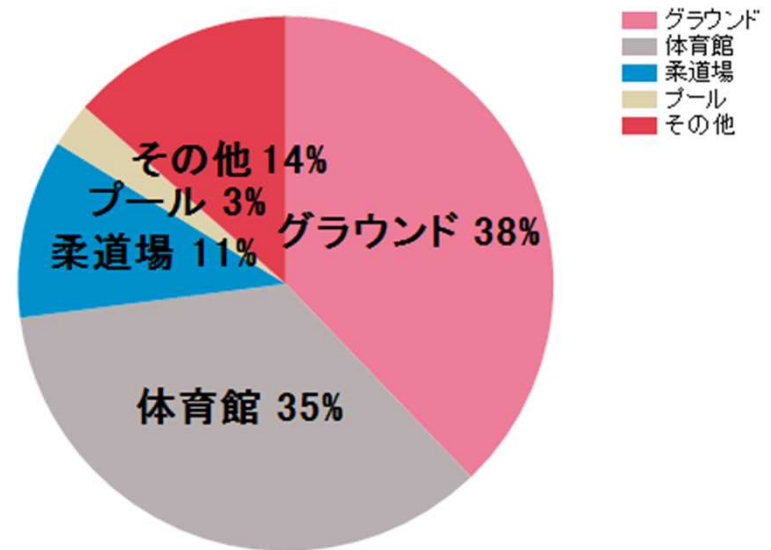


# 体育

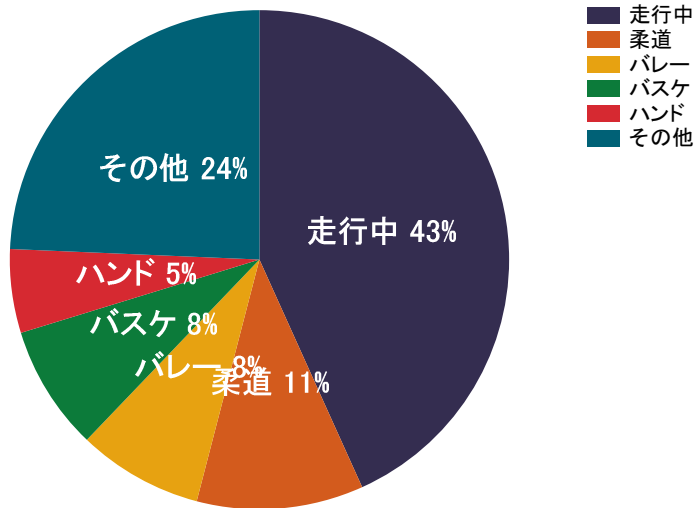
## 体育の授業中のけがの発生時期



## 体育の授業中のけがの場所

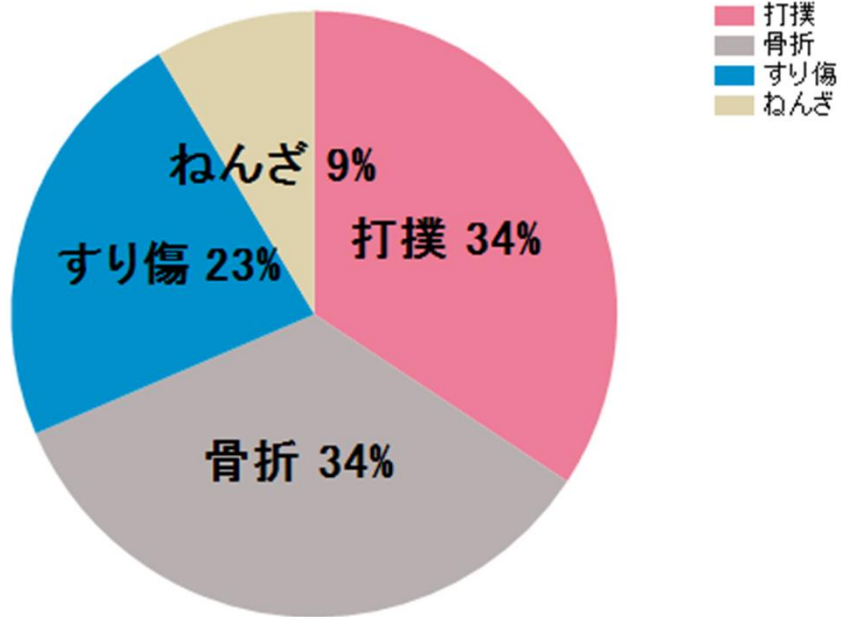


## 体育の授業中のけがの発生状況



# 体育

体育の授業中のけがの内容



## けがの部位と種類 上位5

1. 手指の骨折 (12%)
2. 足首のねんざ (7%)  
ひざの打撲 (7%)  
ひざの骨折 (7%)
5. 足首の打撲 (5%)

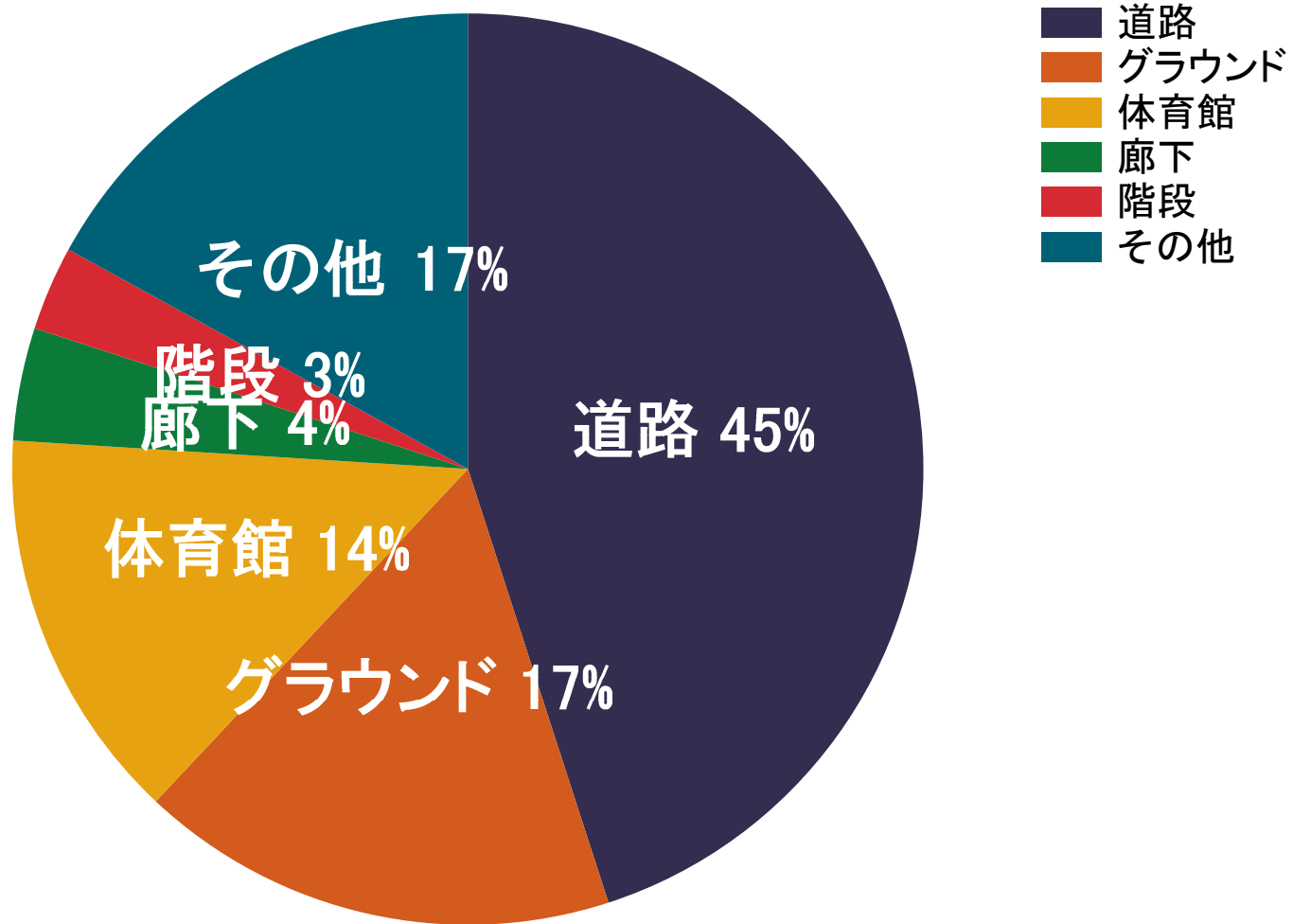
**本校生のけがの実態**

**登下校時の**

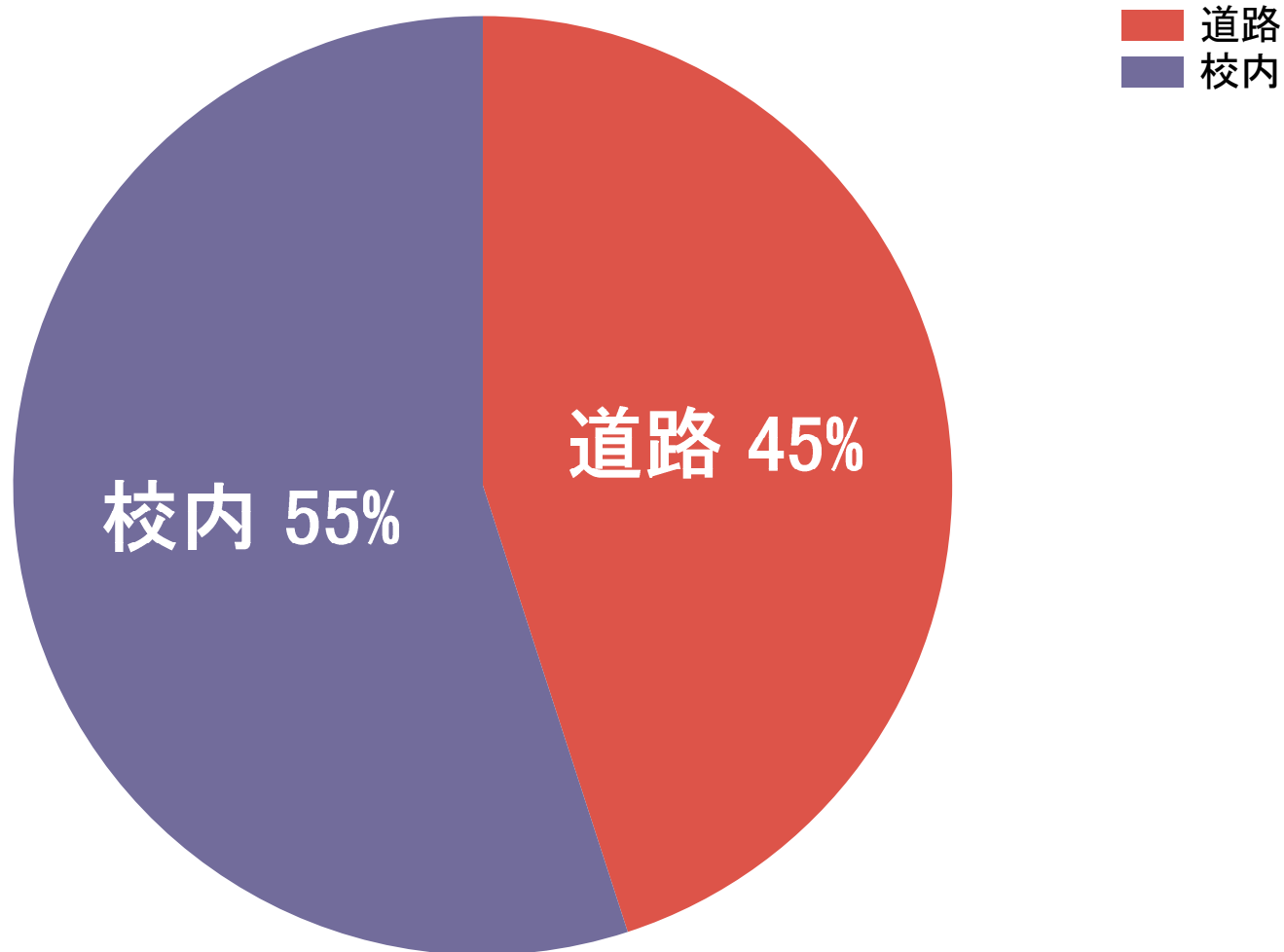
**自転車乗車時の**

**けがが一番多い**

## 発生場所の割合

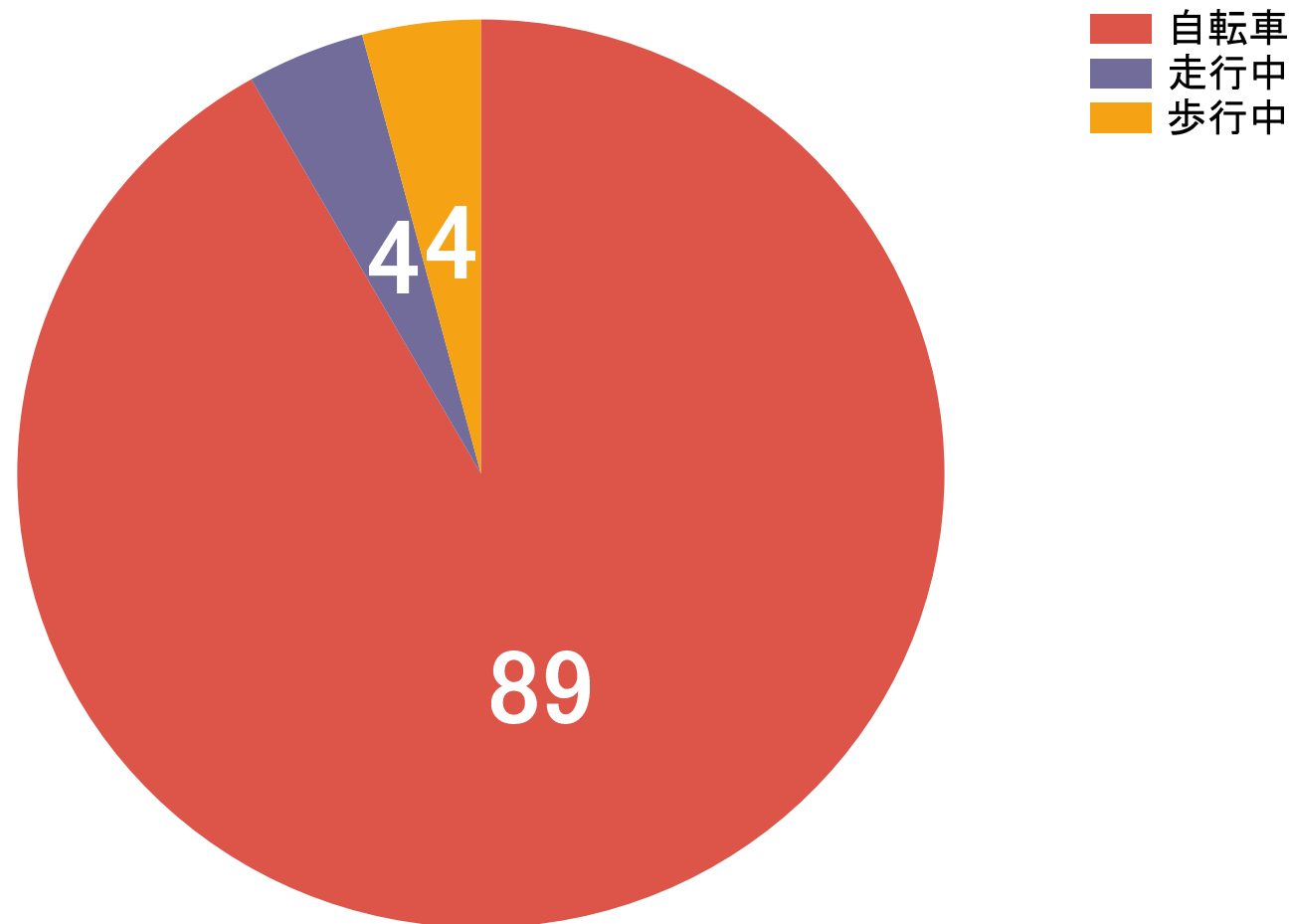


## 発生場所の割合



**本校生のけがの約半分は路上で起きている**

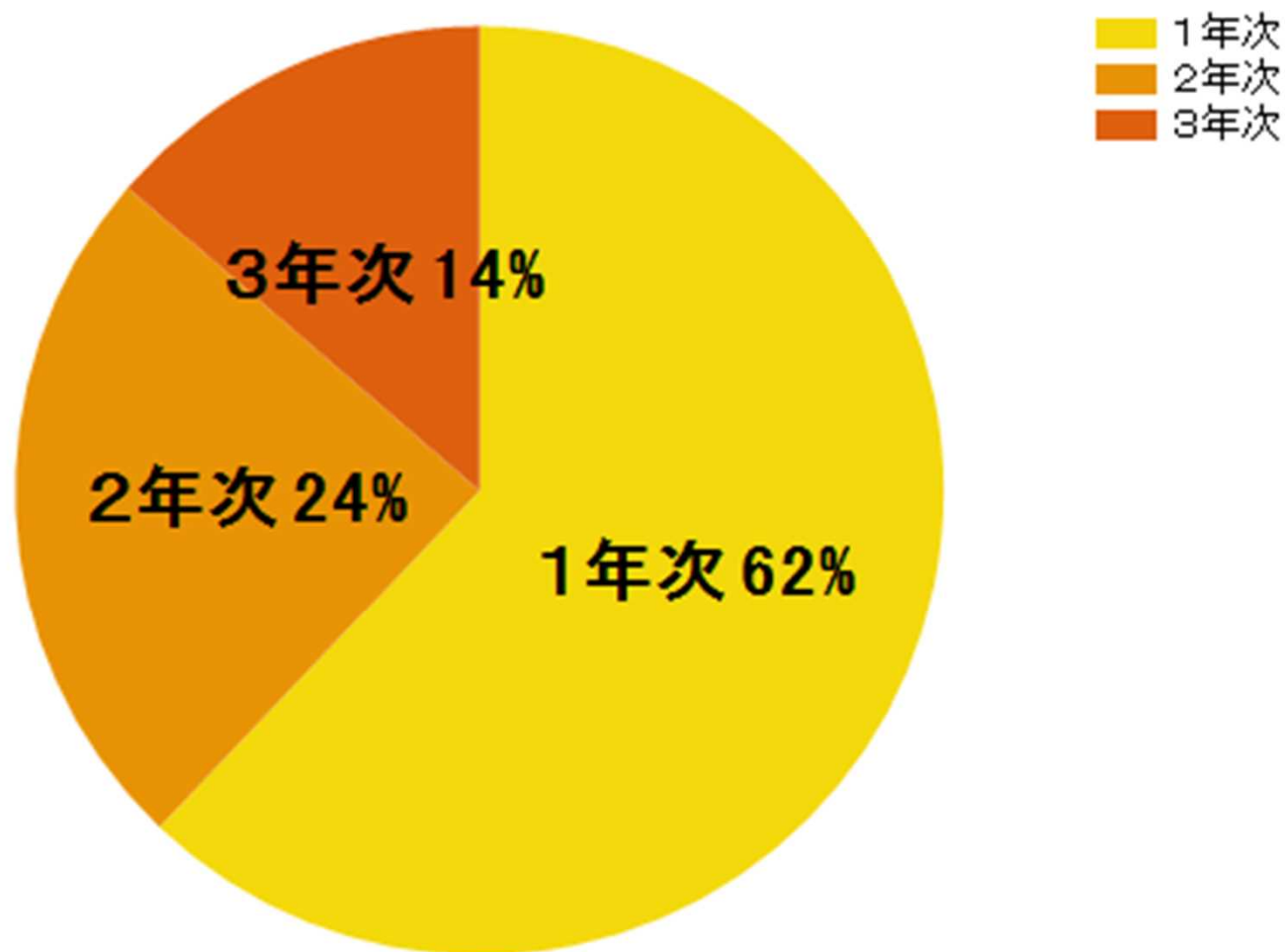
## 路上のけがの原因 (%)



路上のけがのほとんどが自転車乗車中

## 本校生の自転車のけが

1年次の自転車のけが



# 「警察庁交通局 児童・生徒の交通事故」

本校も同じ状況

自転車乗用中の死傷者数(24歳以下)  
5年(H25~H29)の平均

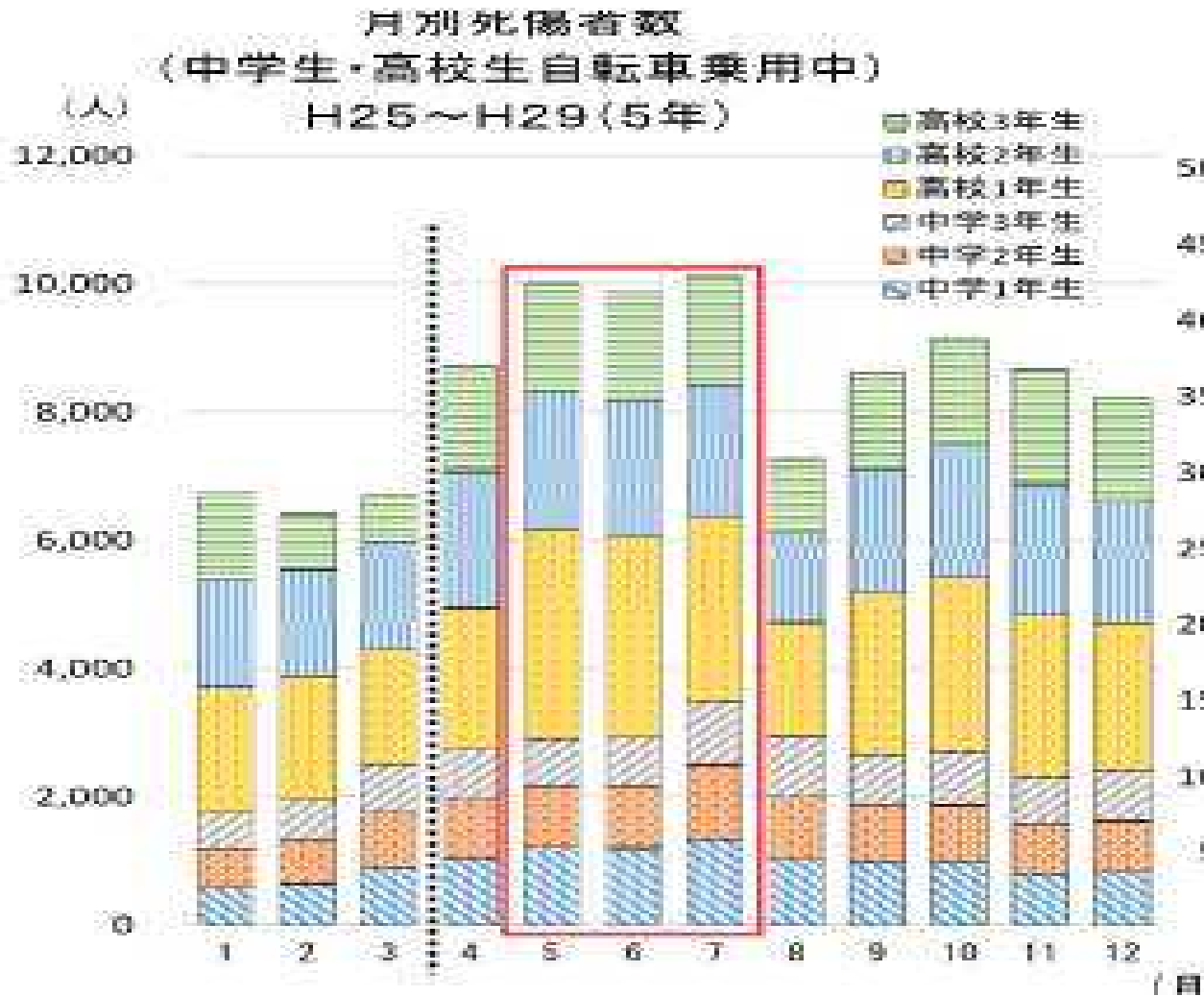


自転車乗用中の死傷者は、小学6年生から中学1年生で倍増し、高校1年生（年齢では16歳）が最多

自転車通学の開始



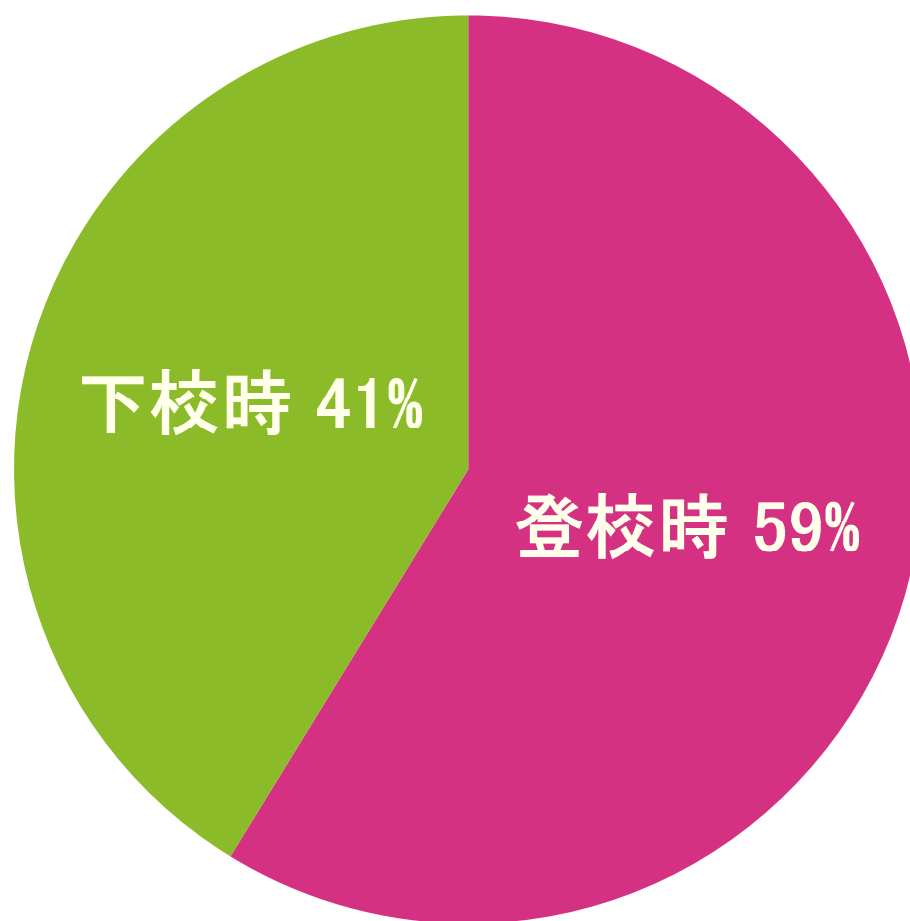
# 「警察庁交通局 児童・生徒の交通事故」



自転車乗用中の死傷者は、月別では、4月から増加し、5月～7月が多い。

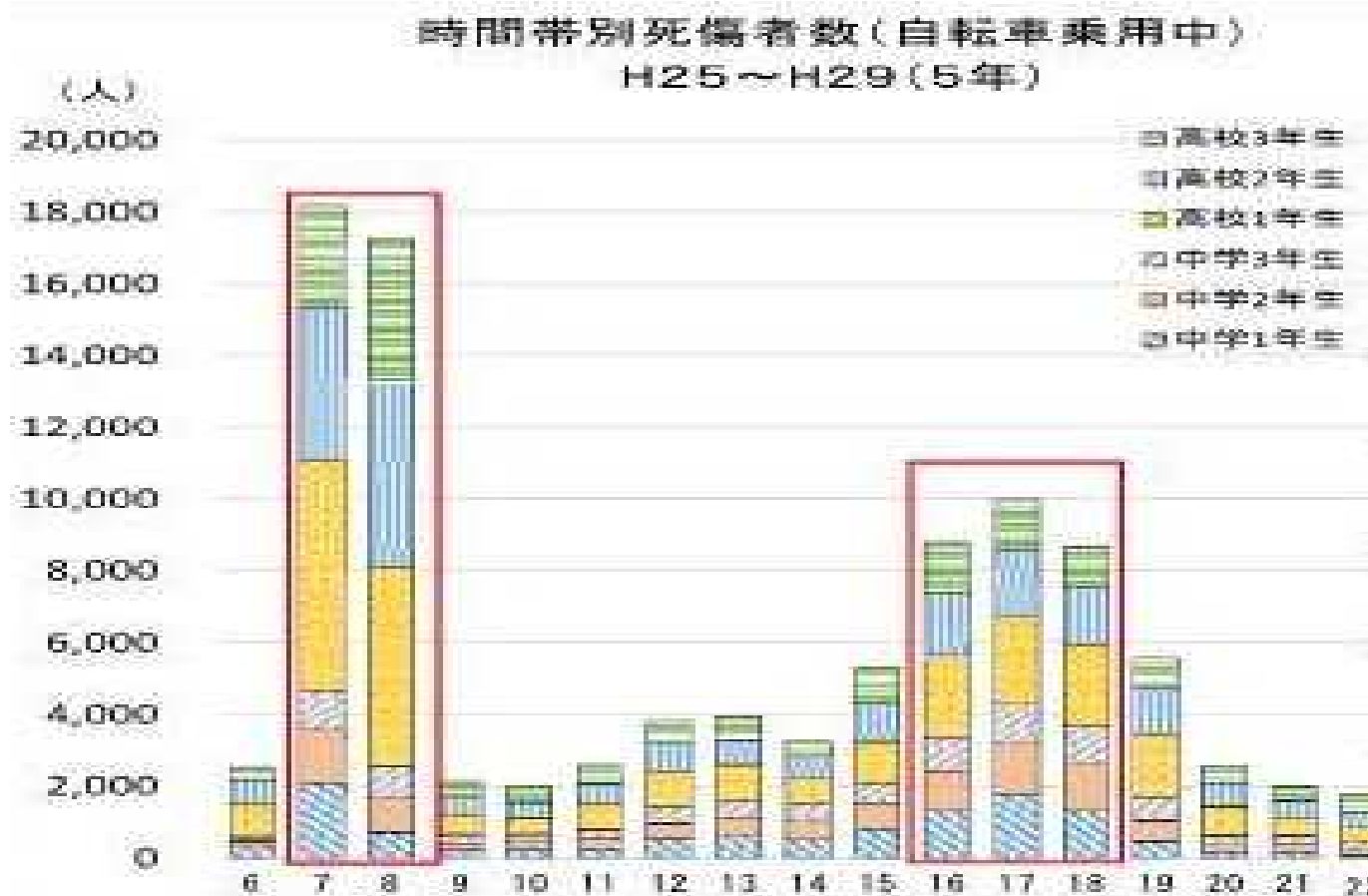
本校生の自転車のけが

自転車によるけが



登校時  
下校時

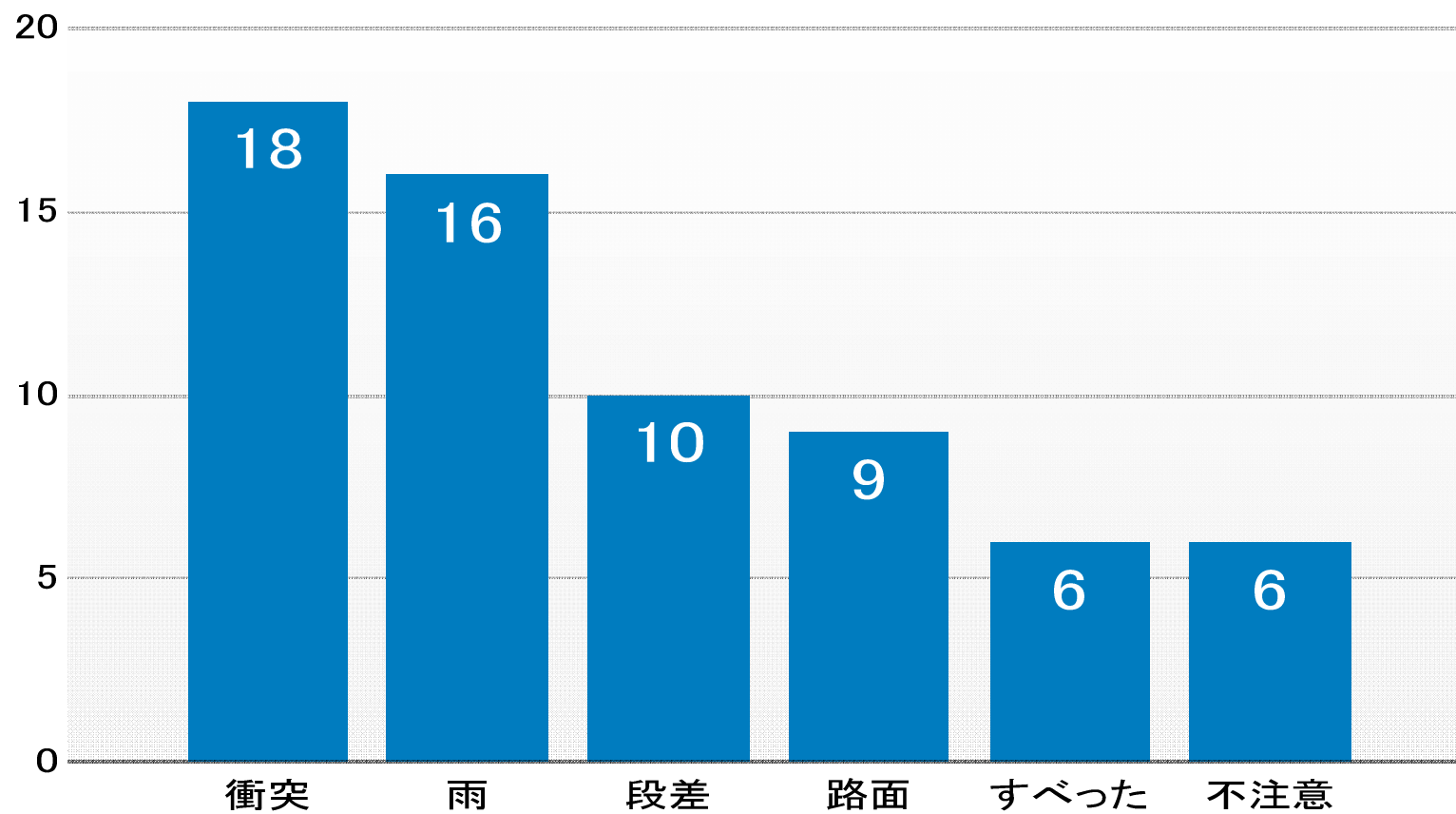
# 「警察庁交通局 児童・生徒の交通事故」



時間帯別では、  
登下校時が  
多い。

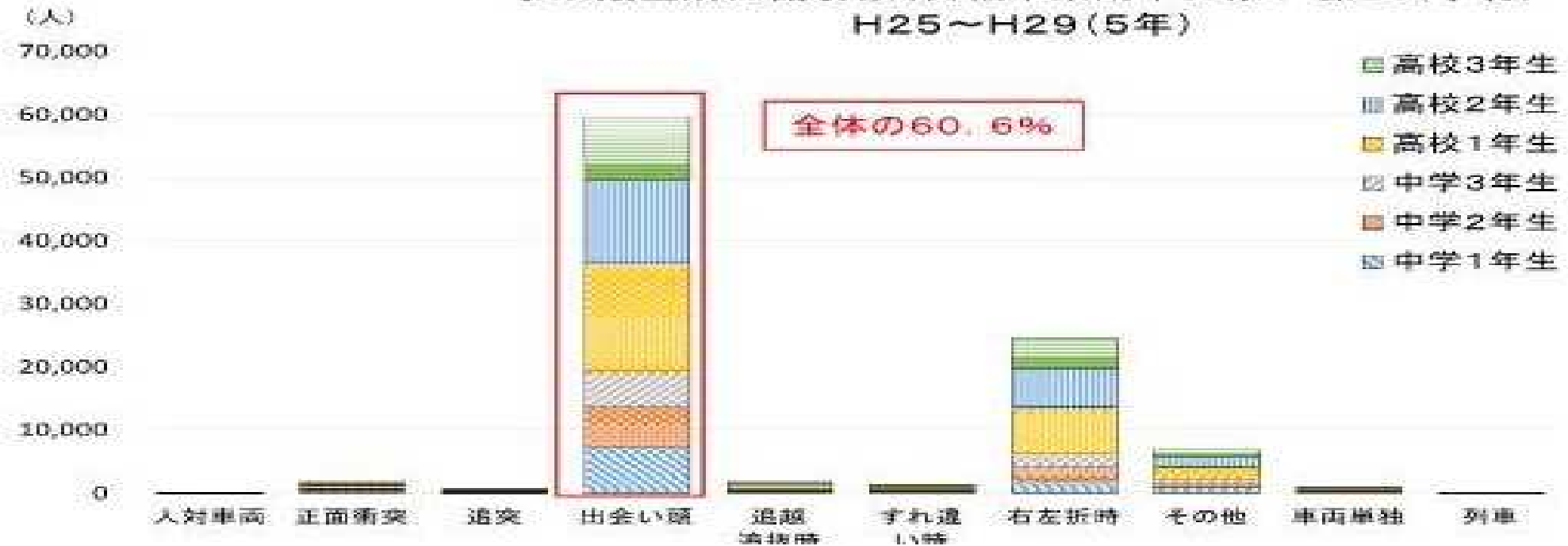
本校も同じ状況

## 自転車によるけが (%)



# 「警察庁交通局 児童・生徒の交通事故」

事故類型別死傷者数(自転車乗用中の第1・第2当事者)  
H25～H29(5年)



- 事故類型別では、出会い頭事故が多い。
- 出会い頭事故の衝突地点は交差点、法令違反は、安全不確認、一時不停止等、交差点安全進行義務違反、動静不注視が多い。

# 「警察庁交通局 児童・生徒の交通事故」

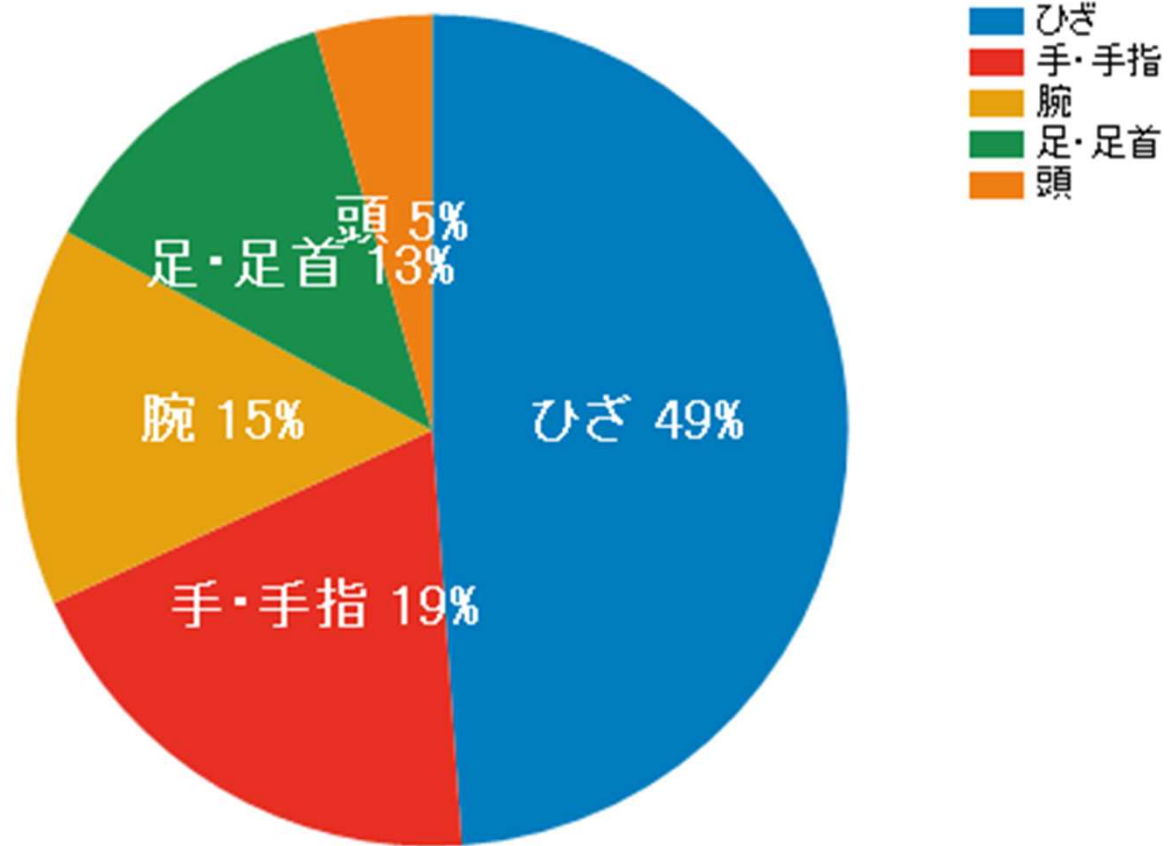
高校生の人身損傷主部位別死傷者数(自転車乗用中)



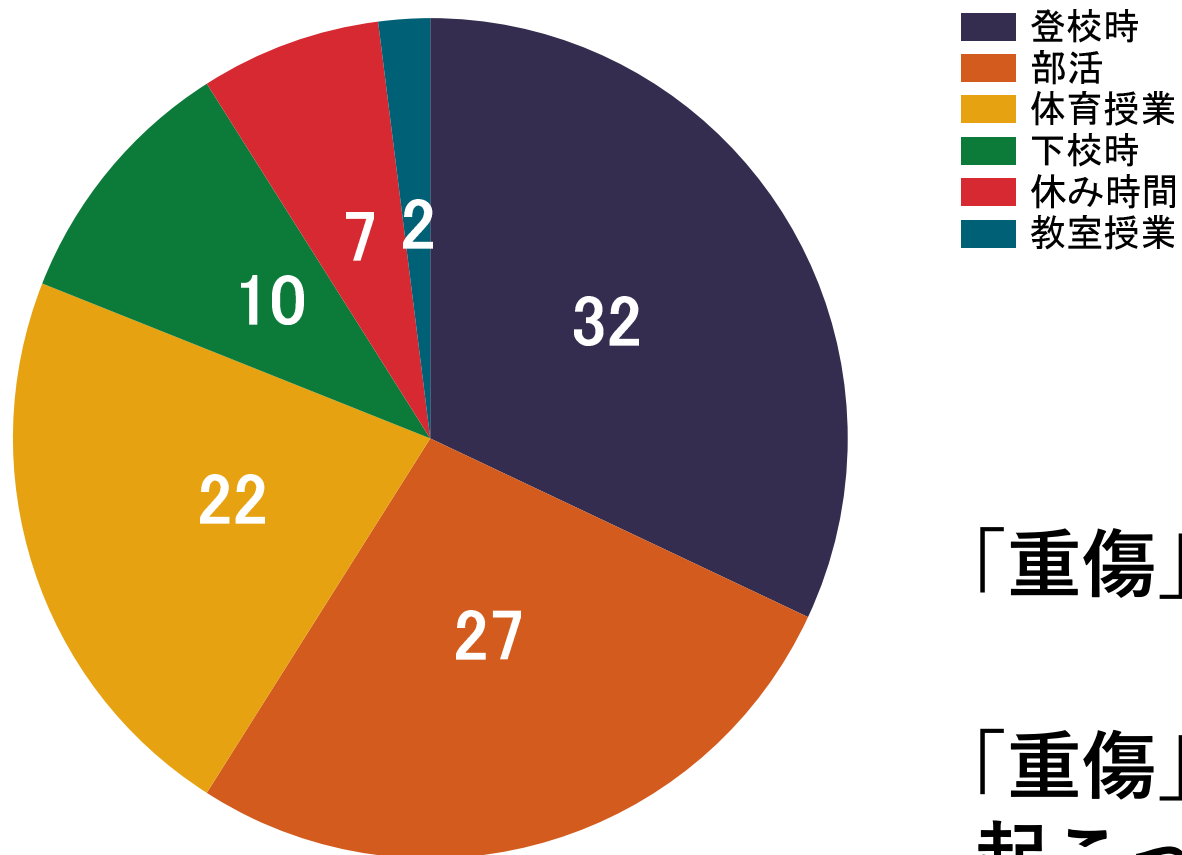
- ・ 自転車乗用中の死者のうち、人身損傷主部位が頭部損傷は、中学生 90.0%、高校生 69.0%
- ・ 人身損傷主部位が頭部損傷の死者のうち、ヘルメット非着用は、中学生 72.2%、高校生 100%

# 自転車のけがの部位

自転車のけがの部位



## 「重傷のけが」の発生状況



「重傷」のけがは少ないが、

「重傷」の約半数は登下校時に  
起こっている



## 「警察庁交通局 児童・生徒の交通事故」

中学生・高校生の自転車乗用中（対歩行者）事故では、  
第1当事者となった割合は98.9%。  
特に高校1年生の第1当事者が多い。

第1当事者：最も過失が重い人

登下校時のけがを減らすためには、

合格者説明会で

- ①本校のけがの実態を報告し、
- ②自転車通学希望者には、入学前に各自で本校まで自転車で往復し、
- ③危険な場所などを把握し、

4月から安全に登下校できるようにしてもらおう

学校内で危険だと思う場所を書いてください（複数回答）

回 答	けがの件数
階段（24%）	7件
正門～校舎間の坂道（12%）	1件
非常階段(外階段)（10%）	1件
廊下（9%）	9件
グラウンド（4%）	37件
駐輪場とその階段・段差（3%）	1件

## けがを防ぐためには何が必要と思いますか？（上位回答）

周りの安全を確かめる

1人1人が注意し、ボーッとしない

気をつけて行動する

安全運転をする

危険なことをしない、危険な場所を避ける

校舎内では走らない

学校保健委員会に参加いただいた方々

学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方  
PTA会長、PTA環境保健委員会の委員長・委員の皆様、

本校関係者

管理職、各分掌長、学年主任、保健部、  
生徒保健委員長、副委員長